

ソーシャルビジネスグランプリ2015冬

2月21日(土) 虎ノ門ツシヨールホールにて
主催：社会起業大学 / デモクラシー2015 インシアティブ

生涯学習開発財団が後援する「ソーシャルビジネスグランプリ2015冬」が2月21日に開催された。

今回は記念すべき10回目の開催。社会起業家部門の計画発表と審査、政治起業家部門の発表に加え、過去9回のグランプリ受賞者が登場し、受賞事業の進捗などを発表した。第1期の桜井正則氏から前回の杉下智彦氏まで、皆さん確実に前に向かって進んでおられるのが印象的だった(左欄参照)。

田坂広志名誉学長が基調講演で述べられた、社会起業家の4つの強さ。「ポランタリー経済を動かせる志」、「苦しいところから這い上がる強い原体験」、「挫折からも学び、成長を報酬と思える感性」、「偶然や巡り会いを味方につける思考」。そうした強さをOB各氏の活動報告からも感じた。



生涯学習開発財団佐藤梨奈から社会起業家部門グランプリ受賞者の山城裕之さんに、起業助成金30万円の目録が贈呈された。

社会起業家部門5名のファイナリストからグランプリを受賞したのは、山城裕之さん。格闘技を社会事業の核として展開する異色の計画だった。事前リサーチで選ばれた政治起業家部門は、ジャーナリストの堀潤氏。受賞スピーチも共感を呼んだ。田中勇一社会起業大学理事長は、グランプリ自体も、起業家とともに常に前に進めて行きたいと締めた。



第1回 桜井正則氏
障がい者就業支援中。埼玉県にLOGハウスを設立中。



第2回 山崎誠氏
発達障がい児のオンラインワークショップスクール実施中。



第3回 新川政信氏
介護現場へのシニア派遣・かい寝隊以外にも働く場を。



第4回 川初真吾氏
当事者が講師になる「ひきこもり大学」など開催。



第5回 名知仁子氏
ミャンマーの12村で医療・栄養指導と菜園を展開中。



第6回 杉山絢子氏
5人で始めたCan-netが30人の会員に成長。



第7回 竹田英樹氏
独立して「& Nature」という自然特化の旅行社を設立。



第8回 福島見容氏
NPOみらいびとで介護人材を成長させる講座を開始。



第9回 杉下智彦氏
受賞を機にケニアで仲間が法人化。日本でもNPO準備。

社会起業家部門



胡蝶蘭の栽培ビジネスで障がい者の活躍の場を見出す

●MIRAIZ 胡蝶蘭 石川雅幸さん

高付加価値商品である胡蝶蘭栽培を障がい者就労の場として実践中。知的障害でも身体障害でも、適材適所でできる仕事はある。彼らのスキルを高めることは社会資産であり、近い将来の農業の人手不足解消にもなる。



グランプリ

総合格闘技世界最強の日本人を育成するビジネス ~格闘家のセカンドキャリアを創造

●しんわスポーツアカデミー代表 山城裕之さん

最高峰の総合格闘技UFCの日本人スター選手育成と、選手のセカンドキャリアとなる介護施設で働く実業団制度を、地域活性化をとまなう格闘技ジムのFCで実現したい。日本のよき武道精神を世界に向けて発信。



演劇の力で想像から創造へ 明るい未来創造で閉塞感を打ち破れ!

●アプライド・ストーリーラボ[ASLa] 多田美紀さん

14年間の俳優経験と演劇の手法を活用したアプライド・ストーリー研修を、企業の人材育成やDV被害者ケアに展開したい。役柄を想像し表現することで、多くの気づきを得られる。枠に縛られない自由な社会を目指す。

政治起業家部門



投稿型ニュースサイト「8bit News」とみんなの戦争証言アーカイブス

●ジャーナリスト/NPO法人「8bitNews」代表 堀潤さん

市民のパブリック・アクセス実現に向けた投稿型ニュースサイト「8bit News」と、誰でも使えて著作権フリーの「みんなの戦争証言アーカイブス」を推進。一人ひとりが何ができるのか、当事者意識の醸成に寄与している。



主婦の新しい働き方を創造して日本の企業とビジネスマンを元気にする

●クラウドサポートینگYell (エール) 與良昌浩さん

第4回の「ハタモク」に続く2度目のファイナル登場。ビジネスマンの鼓舞や孤独予防のためにエールを送る、主婦の在宅ワーク化する。母性や子育て経験が適性になる。教育現場やオリンピックに出身者が出るのが夢。



共感大賞

社会が良くなることにお金が回る世界の実現へ ~投資で社会が良くなる仕組み~

●水野 司さん

成績トップのファンドマネージャーだったが大地震さえ株価判断の情報と考えたことに違和感を持ち退職。社会課題解決のための投資とリターンを組み合わせたい。出資者の理解、伸びる社会的投資先ともまだ不十分。